



令和4年9月22日（木）
 県産品振興戦略課
 副課長兼主任主査 齋藤 浩光
 電話 024-521-8026（内 2920）

令和3年度県産品の輸出実績について

令和3年度の県産品（アルコール類、加工食品、農畜産物、工芸品）の輸出金額は、約1,375百万円（前年度比約152%）と**過去最高**を更新しました。

記

1 県産品輸出金額の推移

（単位：百万円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
										R3	R3/R2
アルコール類	94	111	187	211	350	363	447	483	437	773	177%
加工食品	0.4	5	12	17	31	99	62	50	82	100	123%
農畜産物	3	8	11	19	34	78	110	119	227	332	146%
工芸品	—	—	—	—	154	104	32	80	159	169	106%
合計	98	124	210	247	568	645	651	732	905	1,375	152%

（割合は千円単位で計算。）

2 品目毎の状況

(1) アルコール類

- 輸出量は約549KL（前年度比約173%）、輸出金額は約773百万円（同約177%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先はアメリカで、輸出金額は約343百万円（同約211%、全体の約44%）と最も多く、次いでフランスが約116百万円（同約213%）の順だった。
- また、輸出金額全体のうち清酒は約387百万円、リキュール類は約386百万円となり、それぞれ約50%を占めた。
- なお、清酒の主な輸出先はアメリカ、香港、カナダの順に、リキュール類はアメリカ、フランス、台湾の順に多くなっている。
- 増加の主な要因は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響などにより輸入額が減少したアメリカやフランスなどの国において物流が回復したことや、特にアメリカにおいては、県産日本酒の知名度が向上し、日本食レストランなどの飲食店や小売店での取り扱いが拡大したことなどによる。

(2) 加工食品

- 輸出金額は約100百万円（前年度比約123%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先はアメリカで、輸出金額は約33百万円（同約76%、全体の約33%）、次いでカナダが約18百万円（同約2093%）の順だった。主な輸出品目は「乾麺」などの麺類や「醤油こうじ」、「味噌」などの調味料となっている。
- 増加の主な要因は、カナダ向けなど水産加工品の輸出が増加したことなどによる。

(3) 農畜産物

- 輸出金額は約332百万円（前年度比約146%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先は中国で、輸出金額は約148百万円（同約118%、全体の約45%）、主な品目は「花き」となっている。次いでシンガポールが約58百万円（同約252%）で主な品目は「米」となっている。
- 増加の主な要因は、中国において花きの輸出が増加したことや、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたシンガポールや香港において日本食レストランなどの飲食店で県産米の需要が増加したことなどによる。

(4) 工芸品

- 輸出金額は約169百万円（前年度比約106%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先はアメリカで、輸出金額は約153百万円（同約123%、全体の約90%）、主な品目は「絹織物」となっている。
- 主な輸出品目は、絹織物となっている。
- 増加の主な要因は、県産絹織物のアメリカ向けの輸出が増加したことなどによる。

福島県産品の輸出状況

福島県産品の輸出金額の推移(令和4年9月22日現在)

